



その他の災害 ① 雷・竜巻・火災

集中豪雨・雷・竜巻について

発達した積乱雲により、雷や竜巻、集中豪雨が発生することがあります。屋外で行動する場合は、雷注意報や竜巻注意報が発表されていないかなど、事前に気象情報を確認するようにしましょう。

集中豪雨



集中豪雨とは短時間に集中して狭い地域に多量の雨が降る事で、大気不安定な状態が続いている時や台風が近づいている時・上陸した時などに発生します。台風などと異なり予測が困難であり、突発的に多量の雨が降ることから、河川の氾濫や土砂災害などの被害が起きやすいので、気象情報に十分注意しましょう。

落雷



季節を問わずに発生する雷は、特に積乱雲が発達する夏から秋に多く発生します。注意報の発表時や発達した積乱雲が近づいてきた時は外出を控えましょう。

- ⚠ 雷鳴が聞こえたらすぐに避難
- ⚠ 建物の中や自動車へ避難
- ⚠ 木や電柱から4m以上離れる

竜巻



竜巻は季節や場所を問わず起こります。いつもと違う雲を見る、急に空が暗くなる、冷たい風やひょうが降ってくるなどの竜巻の前兆現象を感じたり、警報・注意報が出ている場合は早めに安全な場所へ避難しましょう。

- ⚠ 頑丈な建物の中へ避難
- ⚠ 屋内でも、窓や壁から離れる

火災が発生したら

すぐに大声で知らせる

火災を発見したら、周りの人に大声で知らせましょう。鍋などを叩いて大きな音を立てるのも効果的です。小さな火でも119番通報を。



早く消火する

出火から3分が自力で消火できる限界です。水や消火器のほか、座布団で叩く、布団を被せて密閉するなどして、消火にあたりましょう。



早く逃げる

火が天井に燃え移ったら、消火を諦め速やかに避難。避難するときは、できるだけ姿勢を低く、タオルで口を覆うなど、煙を吸わないようにしましょう。



消火器の正しい使い方



① 安全ピンに指を掛け、上に引き抜きます。



② ホースの先端を持って、火元に向けます。



③ レバーを強く握ると消火剤が噴射されます。炎や煙ではなく、火元に吹きつけましょう。



注意! 消火完了後も、熱が残っていると再発火のおそれがあります。注意しましょう。



注意! 消火器の設置場所は、日の当たる場所や湿気のあるところを避けましょう。



その他の災害 ② 雪害

暴風雪時は外出を控えることが重要です

暴風雪による被害の特徴

- ① 風雪による吹きだまりが発生!
- ② 暴風や視界不良による歩行困難!
- ③ 暴風による屋根や看板などの飛散物
- ④ 停電により照明や暖房が使用できない

やむ得ず車で外出するときには

天気の急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



除雪中の事故防止

- 除雪作業は2人以上で行い、携帯電話を携行しましょう。
- 必ず命綱を使用しましょう。
- はしごの固定を忘れず。
- 晴天の日は雪が緩むため注意しましょう。
- 除雪機の雪詰まりを直すときは、必ずエンジンを切ってから行いましょう。



家の中にいるとき

FF式暖房機などの給排気口が吹きだまりでふさがれると一酸化炭素中毒を起こす可能性があります。

- 給排気口がふさがれていないか確認する。
- 出入口を確保するため、吹きだまりの状況を見て除雪する。



車を運転しているとき

運転中に暴風雪となり視界が悪くなったときは、そのまま運転を続けるのは大変危険です。

- 道の駅、コンビニエンスストア、人家などで天気の回復を待つ。
- 気象情報や道路情報を確認する。



歩行中や屋外で作業中のとき

視界不良(ホワイトアウト)により方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあります。

- 近くの商店・コンビニエンスストア、人家など建物の中の安全な場所へ避難する。
- 肌の露出を少なくして、体温の低下を防ぐ。
- 歩行中は飛散物に注意。



車が立ち往生したとき

車が立ち往生したときは、後続車から追突されないように注意してください。

- ハザードランプを点滅、停止表示板を置く。
- JAFなどのロードサービス、警察・消防、近くの人家に救助を依頼しましょう。
- 一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ解放し、追加の降雪や吹きだまりで埋もれないように注意しましょう。

緊急時の連絡先 ※短縮ダイヤル

道路の異常を発見したら
道路緊急ダイヤル **#9910**

車の故障・レッカー移動
JAFロードサービス **#8139**

